



つぼい たかひと
坪井孝仁 議員

TSUBOI Takahito

Q. 中学校改築のスケジュールは

A. スピード感を持って推進

令和2年12月定例会の一般質問で中学校改築について質問をした。

教育委員会は「令和3年度に中学校施設整備基本構想会議（仮称）を立ち上げ、新たな中学校の目指すべき姿について教育環境の質的向上はもとより、地域コミュニティの拠点形成、安全安心な施設環境、財政負担を軽減する効率的な施設運営、さらに整備手法などについて議論を深めたいと考えている。」

「整備手法で考えられるのは、町が設計、施工、維持管理をそれぞれ分割して発注する最も一般的な方式をはじめ、設計、施工、維持管理、資金調達を一体的に発注する、いわゆるPFI方式でさまざまな形態がある。こうした方式に関する検討の視点は財政負担の軽減、サービス向上、リスク分担、発注の手順などが考えられる。」

「将来にわたって長く町の財政負担となる課題であるため新設予定の中学校施設整備

基本構想会議（仮称）などで慎重に検討していく。」との答弁であった。

そして、令和3年度に豊山中学校施設整備基本構想会議（以下、構想会議）が設置された。

令和4年6月末までに計8回の構想会議が開催され、広報とよやま9月号で特集記事が公表された。

◎ 構想会議によって、広報とよやま9月号の特集ページ「目指すべき中学校のあり方」に、どう反映されたか。

◎ 教育委員会事務局 長

◎ 特集ページの内容は構想会議でまとめられた「目指すべき中学校のあり方」の概要を町民の皆さまにお伝えするものである。反映されたこととしては「学校施設改築・長寿化計画」に記載されている中学校の改築について、より深く具体化できたことを町民の皆さまに分かりやすくお示しすることができたことである。

◎ 令和4年6月29日の構想会議で「今回で終了となる」と締めくくられている。この会議の設置要綱では委員の任期は「中学校の改築が終了する日まで」となっている。中学校改築が終了していないなかで、この設置要綱と整合性がないのではないかな。

◎ 教育委員会事務局 長

◎ 次のステップでも委員の皆さまに引き続き協力していただくよう依頼しており、今後もこの構想会議をベースに進めていく。

◎ 中学校改築の最終目標年度はいつで、今後のスケジュールは。

◎ 教育委員会事務局 長

◎ 現在、次のステップに進むために、構想会議で比較検討された複数の建設候補地とさまざまな整備手法に関する課題について検討を深めている。いずれにしても、スピード感を持って中学校改築事業を着実に進めていく。



広報とよやま9月号
特集「目指すべき中学校のあり方」